徒然草（つれづれなるままに）＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

①つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆく②よしなしごとを、③そこはかとなく ア書きつくれば、あやしうこそ［Ａ］。

問一　空欄Ａに「ものぐるほし」を適当な形に直して入れなさい。また、「ものぐるほし」の品詞名を答えなさい。

問二　波線部**ア**の「書きつくれ」を未然形に直しなさい。また、その場合の波線部全体の現代語訳も答えなさい。

問三　傍線部①、②、③を現代語訳しなさい。

問四　この「徒然草」の序段は随筆の本質について語ったものだと言われている。次の各項目に相当する部分を抜き出しなさい。

(a)　執筆の内容
(b)　執筆の場所
(c)　執筆の動機
(d)　執筆の態度

問五　本文にそって、「随筆」の特色を四十字以内でまとめなさい。

問一	問二	問三 ①	問三 ②	問三 ③	問四 (a)	問四 (b)	問四 (c)	問四 (d)	問五

学年	組	番号	氏名	得点

徒然草（つれづれなるままに）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　「徒然草」の序段の持つ役割を正しく認識できているかを問題にしている。「随筆」は現代にも通じる文学ジャンルだが、その本質が見事にここに捉えられていることに留意させる。

☆解答例と配点

問一　ものぐるほしけれ／形容詞　〈４点×２〉

問二　書きつけ／書きつけたならば　〈３点×２〉

問三　①　しなければならないこともなく、手持ちぶさたなのにまかせて　②　とりとめのないこと
③　何ということもなく　〈４点×３〉

問四　(a)　心にうつりゆくよしなしごと　(b)　硯に向かひて　(c)　つれづれなるままに
(d)　そこはかとなく　〈４点×４〉

問五　時間的に余裕のある時に、心に浮かんだことなどを気分に任せて自由に書きつけるもの。　〈８点〉

計50点

つれづれなるままに

年　組　番

得点　／30

問一　次の語の読みを、現代仮名遣いを用いて平仮名で書きなさい。

①　硯（　　）　②　あやしう（　　）

問二　次の傍線部の語の意味をそれぞれ**ア**～**ウ**の中から選び、記号で答えなさい。

①つれづれなるままに、②日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆく③よしなしごとを

①（　　）
ア思索にふけるさま　**イ**眠たいさま　**ウ**特にすることがないさま

②（　　）
ア夕暮れ時に　**イ**その日だけ　**ウ**一日中

③（　　）
アよいことや悪いこと　**イ**とりとめのないこと　**ウ**ありえないこと

問三　次の一節の文節の区切り目はどこか。例のように示しなさい。

（例）飛ぶ／車／一つ／具したり／。

日暮らし硯に向かひて心にうつりゆくよしなしごとをそこはかとなく書きつくれば

問四　次の傍線部の語の品詞と活用形を答えなさい。

①つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、心にう②つりゆくよしなしごとを、③そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

①（　　・　　形）　②（　　・　　形）

③（　　・　　形）

問五　次の傍線部の動詞の活用の種類と活用形を答えなさい。

①　向かひて（　　行　　活用・　　形）

②　書きつくれば（　　行　　活用・　　形）

問六　問四の本文中から係り結びとなっている箇所を探し、その結びの語を書き抜きなさい。

（　　）

つれづれなるままに

☆解答例と配点

問一　①すずり　②あやしゅう〈1点×2〉

問二　①**ウ**　②**ウ**　③**イ**〈2点×3〉

問三　日暮らし／硯に／向かひて／心に／うつりゆく／よしなしごとを／そこはかとなく／書きつくれば／〈1点×8〉

問四　①形容動詞・連体形　②動詞・連体形　③形容詞・連用形〈2点×3〉

問五　①ハ行・四段・連用形　②カ行・下二段・已然形〈3点×2〉

問六　ものぐるほしけれ〈2点〉

（計30点）

つれづれなるままに

つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、心にうつりゆくよしなしごとを、そこはかとなく書きつくれば、あやしうこそものぐるほしけれ。

（序段）

徒然草

つれづれなるままに　―現代語訳―

しなければならないこともなく手持ちぶさたなのにまかせて、一日中すずりに向かって、心に（浮かんでは消えて）移り変わっていくとりとめのないことを、何ということもなく書きつけると、妙に感興が湧いてきて抑えがたいほど気持ちが高ぶってくることだ。

徒然草

つれづれなるままに　―品詞分解―

つれづれなる（形動ナリ・体）　まま（格助・状態）に、　日暮らし（副）　硯（格助・対象）に　向かひ（ハ四・用）て、　心（格助・場所）に　うつりゆく（カ四・体）　よしなしごと（格助・対象）を、　そこはかとなく（形ク・用）　書きつくれ（カ下二・已）ば（接助・順偶）、　あやしう（形シク・用・（ウ音））　こそ（係助・強意（係））　ものぐるほしけれ（形シク・已（結））。